

2006.12.1

インタラクティブ研究所

代表 安田睦子

「高齢者」という言葉は、どのようなイメージを持たれているのでしょうか。
シニアの声から紹介します。

1. 高齢者全体のイメージ (北海道札幌市に住むシニアのグループ討議より)

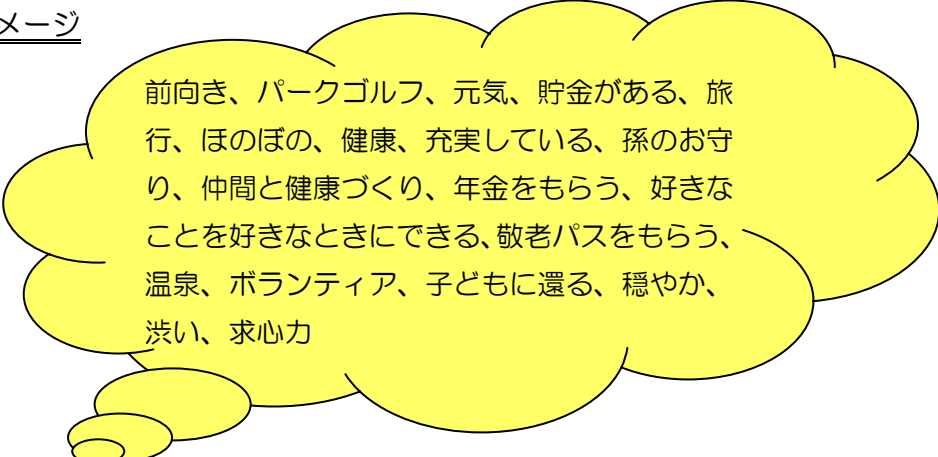
★ 季節や色では、どのようなイメージでしょうか

- ◇ 季節では、晩秋、冬
- ◇ 色では、サーモンピンク、赤、茶、紫
- ◇ スポーツでは、パークゴルフや相撲
- ◇ 歌手では、美空ひばり、北島三郎、小林幸子

★ 「高齢者」から、どのような言葉が浮かぶのでしょうか

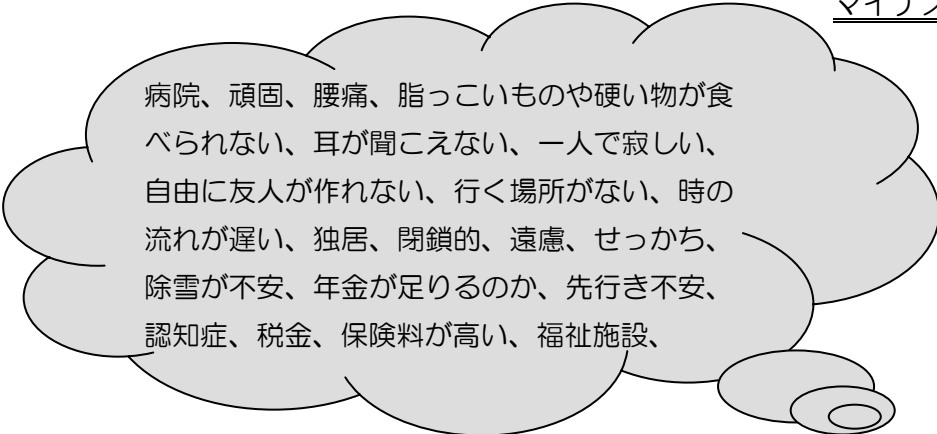
いろいろな言葉を出してもらい、プラスとマイナスに分けてもらいました。

プラスのイメージ



前向き、パークゴルフ、元気、貯金がある、旅行、ほのぼの、健康、充実している、孫のお守り、仲間と健康づくり、年金をもらう、好きなことを好きなときにできる、敬老パスをもらう、温泉、ボランティア、子どもに還る、穏やか、渋い、求心力

マイナスのイメージ



病院、頑固、腰痛、脂っこいものや硬い物が食べられない、耳が聞こえない、一人で寂しい、自由に友人が作れない、行く場所がない、時の流れが遅い、独居、閉鎖的、遠慮、せっかち、除雪が不安、年金が足りるのか、先行き不安、認知症、税金、保険料が高い、福祉施設、

2. 年代別の高齢者のイメージ（北海道十勝に住むいろいろな年代の皆さんの声より）

★農業の町では、65歳、80歳、90歳の方は、どのようなイメージを持たれているでしょうか

65歳のイメージ

高齢者ではない。元気。畑で働く場所がない。
昔はかなり老けたイメージだったが、今は違う。
人生の目標で、見た目（外見）が違う。
ようやく地域に貢献できる。年金支給年齢。
パークゴルフが大好き。
退職後5年経過。人生の第二ステージが始まる。

80歳のイメージ

老人クラブ。まだまだ活動ができる。
いつ何があってもおかしくない。
元気が病気がどちらか。老いた自覚がまだない。
目と耳が不自由になる。認知症が表れてくる。
お茶とテレビが友達祖父母といえる年齢。
孫との関わりも少なくなり、寂しい。
周りからの手伝いが増えてくる。だんだん仕事ができなくなる。精神的に落ち込んでいなくても、体力が付いていかない。

90歳のイメージ

一人では少し不安。付き添いが必要。身体的能力と知的能力の衰え。目離しできない。寝たきり。介護が必要。
見ないふりしても心配りが必要。
芸能人や会社社長などをしている人もいて、元気なイメージもある。
女性が多い。
元気な人は素晴らしい。過去の生活で元気が左右される。
農業などで肉体労働してきた人には、まだ元気な人もいる。
自分の親にも、この歳くらいまで生きて欲しい。